五月日九夕刊

常磐毎日新聞

定價一部金　ケ月金五拾錢　郵税五厘
廣告料五號十二字詰一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　川崎文治
福島縣石城郡平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

李官堡の激戰と

大越中佐の戰死に就て（五）

岡本少將閣下御前講演

此間第六中隊に村落西南端に阻止せられましたが第五中隊は勇敢なる中隊長青山鎔次大尉（第十一期生にして戸山學校より飯還し劍術の達人）卒先突入して陣頭に立てる敵將校の頸部を斜めに斬り下ろし敵兵は大尉の左腹部を刺し其露兵を我兵又胸を刺し且つ皆各致命の射彈を受け相累なりて最後を遂けありと云ふが如き壯烈なる場面もありしが如く第五第六中隊は村前村端に於て既に大なる損害を受け實に格闘の中心をなしました。當時第五中隊の右翼部分及其援隊の一部が右に溢れ來りて、第七中隊に混淆し居りまして約四十名の兵が私の下に集まりました。私は元と第五中隊の小隊長でありました關係上、舊部下の大部を指揮することゝなり、大に意を強ふして小隊長振を發揮することが出來ました。

此南方より敵の第一線の背後に出た我等一隊の行動により大に敵に脅威制肘を與へました、けれども敵は依然とし西面して近距離に於て第三大隊に當り頑强であります。其處で我等は一部を之に當て大部は之に頓着せす更に益々北方に壓迫致しましたが遂に村の中央部東端に途を隔てゝ復廓的に嚴然たる老爺廟に衝突致しました。逐次擊退せられたる敵も集まり此所を先途と固守して抵抗最も頑强でありまして且つ道路が中央部東端に通じて一種の障碍をなし容易に突入が出來ませず敵は益々增加する樣に思はれ激く難洪を來し我損害亦漸く多きを加ふに到りました。此間第三大隊正面も遂に突破せられ逐次退却し來る敵は却て我背後より我等の占據交戰中の家屋を攻擊し來ると云ふ情勢を來し即ち我等は包圍せられることゝなりましたが、又此敵の後方よりは又我第三大隊が攻擊すると云ふ具合で敵も所謂挾み擊ちを受けて居る姿勢であつた、敵の死傷も頗る多いのであります。其中に敵は到頭降參し來るも通常山地戰（得利寺、大石橋、首山堡等）最後の火戰石合戰夫れから突き合となるのが普通の狀況にあります。如斯なると又妙に士氣が振ふもので敵の砲彈榴等が身邊で破裂すると『何にくそ』と叫ばしめ士氣を自ら激勵せしめ又敵の行動に對し又は此方より働き掛ける時は『よし來た』との掛聲を用ひさせましたが如斯場合大に氣丈になることは奇妙な位であります。此掛聲の出ない樣な有樣では勝味はないと見るべきであります。

新綠房總めぐり

——耕影——

房總線

春曉や房總晴れて富士霞む　鋸山

うらゝかや十洲の山河目に收さむ　仁右工門島

名將の匿れ小島や浪かすむ　小松原鏡忍寺

法難の昔を語たる若葉かげ　本山誕生寺

日蓮の功德洽ねし春の風

女給さん數名募集
ランチルーム　一の井
希望ノ御方ハ平町十五丁目
一の井ヘハガキデ申込下サイ

香りのヨイ
新茶入荷致しました
本場
◎一斤　二、〇〇　一、六〇
香味本位の本場銘茶を
召上りませ……
御來店の方に一服呈上……
平町三丁目　電三九六番
大勝園

吉田眼科病院
平紺屋町、電話六八八番

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
內科小兒科　外科花柳病科
耳鼻咽喉科　レントゲン科
平町田町　電話五一三番

赤い目　かゆい目　に一滴でき く
家傳目藥　神教水（新容器入）
平町二丁目（電三二六）
堀藥局

醫學博士名推奬
ラヂウム溫灸器
專賣特許
胃腸病　婦人病　其他の慢性諸症
肥り度い人の福音　熱くなく痕つかず無煙式　誰にも出來る理想的家庭治療器
特約代理部　特約代理部　販賣部　定價表
金拾參圓　藥及特効五週間分付上製桐箱入一揃
金拾圓　藥及特効五週間分付上製桐箱入一揃（說明書呈）
福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院
福島縣平町白銀町九
產婆　關口悅子

江戸前料理
御家庭……御膳二人以上
松　一人前　一圓五品附
竹　同　一圓廿錢六品附
梅　同　一圓五十錢七品附
ゼヒ一度御試食下きい
仕出し　錦水
電四五四番

サヤンのソーダスタンド
ネッタイ生ビール

月曜言論

罪なきに騒ぐ

世間傳ふる處に依れば、最近平青年團最高幹部の一人が賭博事件に連座せるの故を以つて罷免問題を中心として動搖あり總會の開催期迫るに拘らず其擧に出ずる能はずとの事である、此の眞相を聞くに金成副團長が成田講の一行に參し、車中の無聊を慰めんが爲め花札を囲んだ處、時偶々高萩驛より乘り込んだ警察官の嫌疑に觸れて其筋の取調べを受けたが金錢賭けに非らざる旨が判明し青天白日の身となつた由である、即ち金成君の行爲は單なる花札玩弄であつて賭博の罪を以つて律すべきでない事が明らかとなつたのである、此の無辜の民に對し何んか故に辭意を提出せしめたか、吾人は其意を解するに苦しむものである、罪の有無に拘らず世間を騒がした点に引責の要ありと說く者もあつたとの事だ、若し然りとすれば罪もない仕業に騒ぐ世間が反つて惡いのである、一体青年團は親和機關であり修養の團体である、若し世の中が聖人君子のみの集合であつたとすれば修養團体の必要等はないかも知れない、人間がまことに欠陷だらけであり不完全極るものであればこそ修養團体の必要も生じ青年團の存在も茲に意義を有する譯である團の中の一分子に多少の蹴躓きがあつたとしても是れに殊更らなる汚名を着せて引摺り下ろし自分等のみが恰も聖人であつたかの如き活然たる態度は決して當を得たるものとは考へられない、況んや金成君の場合の如き何等罪を以つて問ふべき行爲に非らざるに拘らず爪復を切らして一時を糊塗せんとするは單に世間体をつぐろはんとする稚戯であり反つて世の疑惑を招く結果となる、それは本人自身の爲めにも團將來の爲めにも決してよい結果を見られないであらう、此の際宜しく金成君の辭表を徹回し事態を元の白紙に戻すべきである

平職業紹介所報告

求人之部

△出前持　二十迄　等卒
給料面談（平町某料理店）

△農夫　四十五才　尋卒
月十圓（神谷村某）

△ボーイ見習　十八才　尋卒
月五圓（平町某）

△出前持　三十三才　尋卒
月十圓（平町某）

求職之部

△工場雜夫　二十三才　高卒
給料面談（好間村某）

△女中　二十一才　實家高女卒
給料面談（河沼郡某）

△製材工　二十四才　高一修
給料面談（平町某）

△鍛冶工　三十五才　高卒
給料面談（新潟縣某）

昭和産業博入賞者氏名

（明十日知事臨席 褒賞授與式擧行）

名譽大賞牌の部

バブコルーフイング	東京市　佐久間バブコ工業株式會社
佛壇	山形市　野村彦二郎
江戸の草分　白酒	東京市　豊島屋本店
特製細上傘	岐阜市　宮崎富三郎
日の丸金庫	東京市　合資會社　東京不動商會
町野式水管接手	東京市　株式會社　デヨイント商會
坂本式手袋莫大小機械	福島縣　坂本兼次郎
家庭藥	東京市　博仁房
清秀丹	富山市　株式會社　廣貫堂

金牌の部

丸善インキ	東京市　丸善株式會社
水戸の梅	水戸市　井熊製菓株式會社
水戸の梅	同　林爲吉
漆器類	同　久保清吉
雛人形	同　古田幸三郎
佛壇	長岡市　金子九郎次
寒香梅	福島縣　須賀川菓子業組合
男柾直履	福島縣　大内春吉
煉羊羹	同　薄井忠太郎
岩瀬の松	同　江幡與惣治
大豆油	東京市　豊年製油株式會社
赤間石硯	山口縣　須子萬右衛門
洋髪かづら	神戸市　田部隆造
洋服	福島縣　大崎幸七郎
水飴	福島縣　西脇庄次郎
絞バレース訪問着	京都市　棚橋成介
大島油	東京府　阿部森之丈
漂白桐紙	山形市　吉田吉助
漂白桐紙	同　村井源吉
ニウム鐵瓶	同　伊藤嘉平治
青銅花盛器	同　横倉嘉山
佛壇	同　小島源五郎
軍手	横濱市　丸島商會　關東營業所
漆器	同　村田勝次郎
横濱大橋着色人形	同　大橋時義
ペン印シロップ	同　山口八十八
ホドヂン	同　保土ケ谷曹達株式會社
塗簞笥	仙臺市　門間民造
仙臺平絞無双平	同　仙臺平機業株式會社
月世界	富山縣　吉田榮吉
鹽釜	同　釜戸久平
絹縫糸	米澤市　青木藤左衛門
こわれぬ石筆盤	同　福崎秀一
剪定鋏	同　佐藤恒松
堆黑煙管筒	山形縣　佐藤丑太郎
蒲鉾	福島縣　中西源吉
〃	同　中田健
〃	同　中田平次
〃	同　加澤信造
〃	同　酒井德次郎
苔藻うまい	福島縣　江名實業公民學校
久留米絣	久留米市　國武合名會社
〃	同　本村合名會社
〃	同　久留米織物株式會社
漂白桐紙	山形市　古澤福松
折詰	福島縣　鈴木留吉
織物加工銘仙	足利市　清水市太郎
石磨機械	福島縣　佐藤源吉
引菓子	同　松本屋商店
鰛味淋干	同　小野照吉
蒲鉾	同　遠藤市松
〃	同　菊地寅次郎
引菓子	同　石川サク
古濱縮面	長野縣　百瀬要
チキンソース	東京市　チキンソース株式會社
銘木	同　篠田政之助
軍手用横編機械	東京府　山本仁之助
船用發動機	東京市　友野鐵工所
王様クレイヨン	同　王様商會
日ノ丸式繭毛羽取機	福島縣　草野喜一
印袢天	同　草野七五三之助
桐簞笥	同　和久井屋漆器店
手拭	同　馬目武之助
節絹絞り式型染	同　神谷染物店
珊瑚加工品	高知市　後藤珊瑚加工所
引菓子	福島縣　金田昇一
島臺	同　高橋榮子
カクニ石鹼	同　猪狩庄平
銘酒白馬乃雪	同　松本德一
〃　大和錦	同　佐藤善內
〃　住の江	同　星野嘉右衛門
洋服	同　佐川洋服店
桐簞笥	福島縣　丸ほん商店

（杯以下省略）

破藏犯現る

昨夜高久の農家に

昨夜石城郡高久村某豪農方の土藏を破り金品を窃取せる犯人あり平署にては佐久間、橋本兩警部補を始め多數警官出張搜査中であるが未だ犯人就縛するに至らない

平青年團總會

來る十五日に

平青年團にては來る十五日午後一時よりマルトモホールに於て春季總會を開き役員改選其他諸般の協議等ある筈

社寺で遊ぶな

校外取締

平第一小學校に於ては既報の如く本日午前九時より校外取締者總會を開き生徒に對し左の如き注意を與へる事になつた

一、神社や寺に於て遊ばない事

一、公園に於て惡戯をせぬ事

一、踏切を通る時は一先づ止つて左右を見それから通る事

一、必ず左側通行をする事

競射優勝

法曹矢場開き

平區裁判所構内弓場開きは去る七日擧行來賓多數あり式後競射會を催したが入賞者は左記の如くである

（一等）富田茂八（二等）廣木榮之助（三等）大久保吉貞（四等）小野菊彌（五等）中村梅三郎（六等）小野榮一（七等）伊藤寅之助（八等）平野井富藏（九等）志賀庄三郎（十等）澤田番之助

海軍記念日と

平町各學校の催し

平町各中等學校及小學校にては來る二十七日の海軍記念日に際し各々左の如き催しをすると

（磐中）講演及平窪村御殿山往復二萬米マラソン

（平商）講演（磐女）同（第一）講演及月次運動（第二）講演及校外遠足（第三）講演及月次運動

入山炭礦で競技猛練習

石城郡湯本町入山採炭會社では來る十四日午前九時より入山グランドに於いて全從業員對抗陸上競技會を催すので各係員は連日猛練習中であると

磐中選手惜敗

昨日のラグビー戰

東北帝大主催昨日の七人制ラグビー大會に出場した磐中選手十一名は宮城師範と對戰したが延長戰の結果惜しくも一對零のスコアーにて敗れ涙をのんで歸校した

學事統計審査

既報石城團体事務所樓上に開會される筈であつた郡下各町村並に小學校の學事統計審査會は都合により昨日より平町役場會議室にて開催されたが審査長として相澤縣屬が出張した

上小川の種痘

石城郡上小川村の春季種痘は九日午前九時より戸渡分教場十二日常慶寺内に於て夫々行ふ由

中島判事講演

平十三日會にては來る十三日午後六時よりマルトモホールに於て例會を開き平裁判所監督判事中島十藏氏の講演があると

歸鄉兵奉告祭

平町長橋町にては同町關内半平氏子息海軍一等看護兵關内庄平君が明十日午後四時卅六分平着にて歸鄉する爲め尼子神社々前にて奉告祭を執行すると

磐中の遠足

關西行は今日出發

磐城中學校四年生一同は既報の如く今朝平發五時二十分で各組主任引率の下に關西方面へ修學旅行に出發したが來る十四日其他生徒の遠足運動會を左の如く行ふと

△第一學年新舞子△第三學年關伽井嶽△第三、五兩學年豊間鹽屋崎燈臺

リヤカー八臺窃取

石城郡内郷村字白水後山初太郎（四五）は本年二月頃より平を始め平窪、好間等に於いてリヤカー專門の賊を働き八臺を窃取せる事發覺昨夜平署に檢擧されたが餘罪多數あると

平商勝つ

磐中對の野球一回戰

決勝戰は二十一日に

磐中對平商の第一回野球戰は既報の如く去る七日午後二時半より磐中グランドに於て石坂（球）織田、熊、水竹（壘）各審判の下に行はれたが平商の當り物凄く左のスコアーにて平商先づ一回戰に勝を示したが決勝戰は來る二十一日午後二時より擧行すると

	商	磐
平	3	0
中	1	0
0	0	0
0	1	2
2	0	0
0	3	0
3	1	0
1	0	0
2	2	0
11	7	

橋本校長出張

磐城中學校長橋本文壽氏は來る十六日より三日間東京府立第一中學校に於て開催される全國中學校長會議に出席の爲め十五日平發八時四十五分にて出發すると

氷營業者總會

販賣値段協定

平町氷營業者組合では本日午前九時より平署會議室に於いて總會を開催役員の改選氷購入法及販賣値段の協定等に就いて協議をなした

柔道選手詮衡

濱三郡中學校柔道大會は來る二十二日午前九時より双葉中學校に於て開催されるが磐中及び平商にても出場選手詮衡中である

產馬組合が……

優良總代を表彰

馬格改良や生產增加協議

けふの總會にて

既報石城產馬惣代人會は本日午前九時より團体事務所樓上に於いて總會を開催、左記事項を協議した

一、馬格改良及生產頭數增加に關する件

一、國有原野放牧地並に採草地使用料免除陳情に關する件

一、馬糧執行方法一定の件

尙協議後優良惣代人の表彰を行つて散會したが表彰者は左の如くである

北郷三郎平（上遠野）折笠建太郎（入遠野）小室幸之助（田人）草野長太郎（上小川）合津保兒（永戸）大竹克彦（三坂）松本龜松（川前）

平商の三五會

平商業學校第十一回卒業生より成る三五會にては明日午後六時より松ケ岡公園春木亭に於て會員中の凱旋兵芳賀貞義君の歡迎會を催すと

平町人事

回出生

△長橋町一六　當時東京府下北豊島郡三河島町字町屋五一四齊藤小次郎氏五女　綾子

回死亡

△月見町一九　大沼三郎（一ッ）

△一丁目二四　久野富美子

明日のラヂオ

仙台放送局

今晚の部

▼後六、〇〇 子供の時間 お話「實物幻燈」藤五代策

▼後八、〇〇 運動競技「大日本拳闘會主催拳闘試合狀況」日比谷公會堂より中繼

▼後九、〇〇 連續浪花節「越の海勇藏」第一席 木村重友

▼後九、三一 奉天より

▲後九、四〇 全國ニュース

天氣豫報

今晚も明日も北西の風晴れたり曇つたり

氣象通報 番組豫告

明日の部

▼前九、一〇 料理献立「肉入揚まんぢう」東北女子職業學校

▼前一〇、三〇 家庭講座「日本間の椅子式設備」一木檜恕一

▼後〇、〇五 管絃樂 コロナオーケストラ

▼後二、〇〇 家庭大學講座「迷信と婦人」稚尾辨匡

▼後四、〇〇 角力中繼「大日本相撲選手權大會狀況」東京九段靖國神社相撲場より中繼

▼後六、〇〇 子供の時間 童話劇「ナイチンゲール」BKコドモサークル

▼後七、三〇 講演「エスペラント講演ハンガリーと日本の友情に就て」ヨセフォル 通譯小高英雄

▼後八、〇〇 趣味講演「須賀川の牡丹に就て」須賀川町長大沼正一「附牡丹小唄」玉若外

▼後八、三〇 小唄 田村てる綱

▼後八、五〇 連續浪花節「越の海勇藏」第二席 木村重友

▼後九、三一 奉天より

宮本武蔵

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

〔第四十五席〕　眞庭念流達人櫻井五助

土藏に閉籠られ

村上主殿は若黨七郎次の咽喉を締め上げて

主『さあ五十兩は何れに隱し置いた、取落したとは僞りであらう、コレ隱した所を申せ、云はぬか』

と責めたが咽喉を締められてゐることゝて一言も云へないこれを聞きつけて入つて來た女中のおかめは主殿の手にすがりかめ『どうぞ御勘辨下さいまし、然うかたく縊めますと七郎次さんは死にませうお助け下さいまし』

主『不埒な奴だ、主人を僞り大金を盜み取るとはコレ七郎次何處へその金子を忍ばせ居た白狀いたせ』

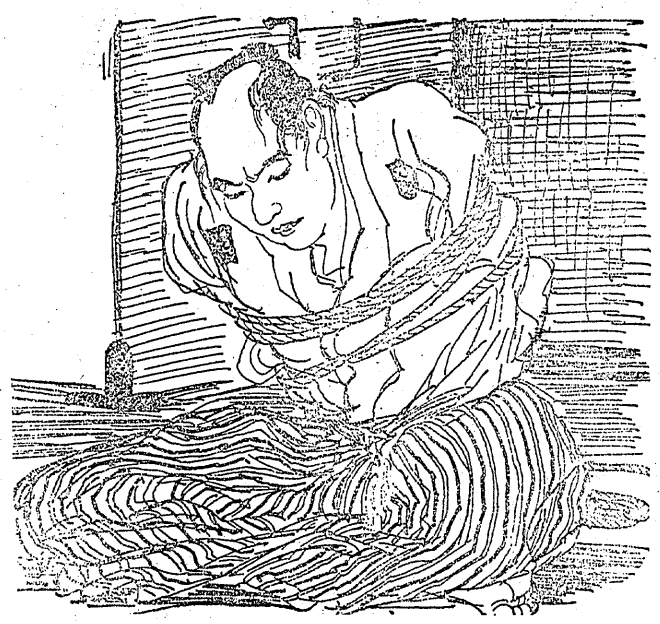
押へた手を緩めた

七『全く取落しましてございます、わたくしは御當家へ一涯無給金にて御奉公いたします、どうぞそれにて御勘辨下さいまし』

主『イヤ金子を隱し置いた處を申さぬ以上は免さんぞそれまでは窮命を申し付ける、コレおかめこれへ麻繩を持つて參れ』

かめ『わたくしよりもお詫びをいたしますからお免し下さいまし又私のお給仕からもお返し申します』

主『イヤ貴樣から受取ることは出來ない、これは確に隱し置いたものと思ふ、然なくば越後屋十兵衛と謀し合して斯樣な事を企み居つたに相違ない、繩を持て早く持てと申すに』



叱り付けられておかめが麻繩を持つて來た、それにてくゝり上げて住居の裏手にある土藏に閉籠め。

主『能く考へろ、落したなぞと申して居ると長く苦しむぞ、次第によつては其の首を刎ねてくれる、この横著者め』

と罵つて居間に戻つた、七郎次はあゝ飛んだ事が出來たこれと云ふのも大切な金を持ちながら酒を飲んだが誤りと後悔したが、此場を遁れる事は出來ない、おかめは密と忍んで來て水を飲ませ又食物を與へる、三日ほどこれに閉ぢ籠められて居つたが、その夜十二時頃おかめが握飯を持つて來て、

かめ『七郎次さん、嘸窮屈だらうね』

七『いやいろ〳〵お前の世話になつて氣の毒だ、然し俺は金を隱して居いた覺えはない、事實落したに相違無いが、旦那樣もそれとは知りながら俺を殺す爲に此處へ締込んだものであらうお前とは深く言ひ交しもう二三年此處に奉公して金を貯めたならば、故郷の出雲崎へ歸り百姓をしてなりと一生を送るつもりであつたが不慮なことから俺は變死をするやうなことになつた』

かめ『なんだね、そんな氣の弱い事を云つて神佛にお願ひ申したならばこの災難を遁れる事もありませう』

七『イヤ遁れる事は出來ない、旦那樣は俺を殺す氣だ』

かめ『それはどういふ理由』

七『お前は知るまいが旦那の善くない事を俺は見て居る、それをうす〳〵氣が付いたやうだ、然ういふ理由があるから今度の失策を幸ひに乾殺すつもりで土藏へ閉籠めた事と思う』

かめ『旦那の惡いことを見たとはそれはどんな事』

問はれて七郎次は、ぶる〳〵と身を慄はせ

七『想ひ出してもゾツとする、それは去年の五月の事であつたが、殿樣よりの御沙汰で森川甚平樣を成敗する爲に旦那と遠藤仁右衛門樣の二人が打揃つて森川樣の許へお出でなすつた、俺はこんな事があるとは知らず中の口の供部屋に待つてゐると、奥で鍔鳴りがして不屈者めと云ふ聲が聞えたから何が出來たか森川樣と喧嘩でもするかと上つて行つて見ると旦那は森川樣に斬り付け又遠藤樣も引拔いて斬り付け、たう〳〵森川樣を殺したスルと旦那が今度は遠藤樣を斬つた、俺は其時びつくりしたよ身體が慄えて立つことが出來なかつた、這ふやうにして供部屋に來たが、それから玄關へ來ると旦那が出て來て、森川の爲に遠藤は負傷をいたした故此事を急いで知らせろと云ひなすつた』

かめ『オヤまア、なんで旦那が遠藤樣を殺したらう』

七『それはナ、御家中の噂で聞くと遠藤樣は大層殿樣にも用ひられて居た、それを此家の旦那が妬み、まだ其他にも旦那の善くない事を遠藤樣が知つてゐるから、それで殺したものであらう』

かめ『惡い人だねえ』

七『そいつを知つてゐるは俺ばかり、それゆえ金を落した罪で此處へ締め込み殺すつもりであらう、シテ見れば俺は助からねえ、これも前世の因緣か、あゝ情ない事になつた』

と涙を流した

貴金屬
時計及眼鏡類
懷中電燈
キミガヨ電氣
ランプ特約店
高橋時計店
平町搔槌小路

寒暖計・体温計
關大藥局
電四〇番

「ロクマク人の心配無用」
期期
二一
肺

不治の病とは過去の事です、醫藥を用ひて捗々しくない方靈能偉力を有する『マムシ』を用ひて下さい、但し素人の幼稚なるマムシの服用法にては効果ありません、今回研究部員が秘法公開致します、遠慮なく相談にお出下さい、

◎特におすゝめ致し度い方說明書差上ます。

心藏病の人　胃腸病の人　性力欠乏の人
經衰弱の人　体力の衰てる人　食慾なき人　神
冷性婦人病の人　腎藏病の人

東京市淺草田島町九一川上蛇類研究所
平町五丁目二二（金光堂時計店裏）
代理販賣所　井内

胃腸病藥の王座を占むる純漢法藥

松前家傳　靈効散（無効返金ス）

ホントに北海道で出來た靈藥が着荷致しました。今迄のは福島市内で製藥したので兎角の批評がありましたが今度のものは眞正のもので奏効確なものです。服用しなくては其の眞價が判りませんから、皆樣見本品を差上げます。御遠慮なくいらつしやつて下さい。見本品でも二日間は飲まれますから胃腸病に苦しむ方、惱病、心臟、痔疾の方は是非御試し下さい。クセにならず根治致します。小兒用の靈効散も出來ました。

定價
試用分（八日分五十錢）　輕症用（廿日分壹圓）
重症用（四十五日貳圓）

平町古鍛冶町縣社ノ下
靈効散地方代理店販賣部
阿部紙店
電話四四番

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番